

北部地区 流域治水プロジェクト

公表資料

大分県北部地区流域治水プロジェクト

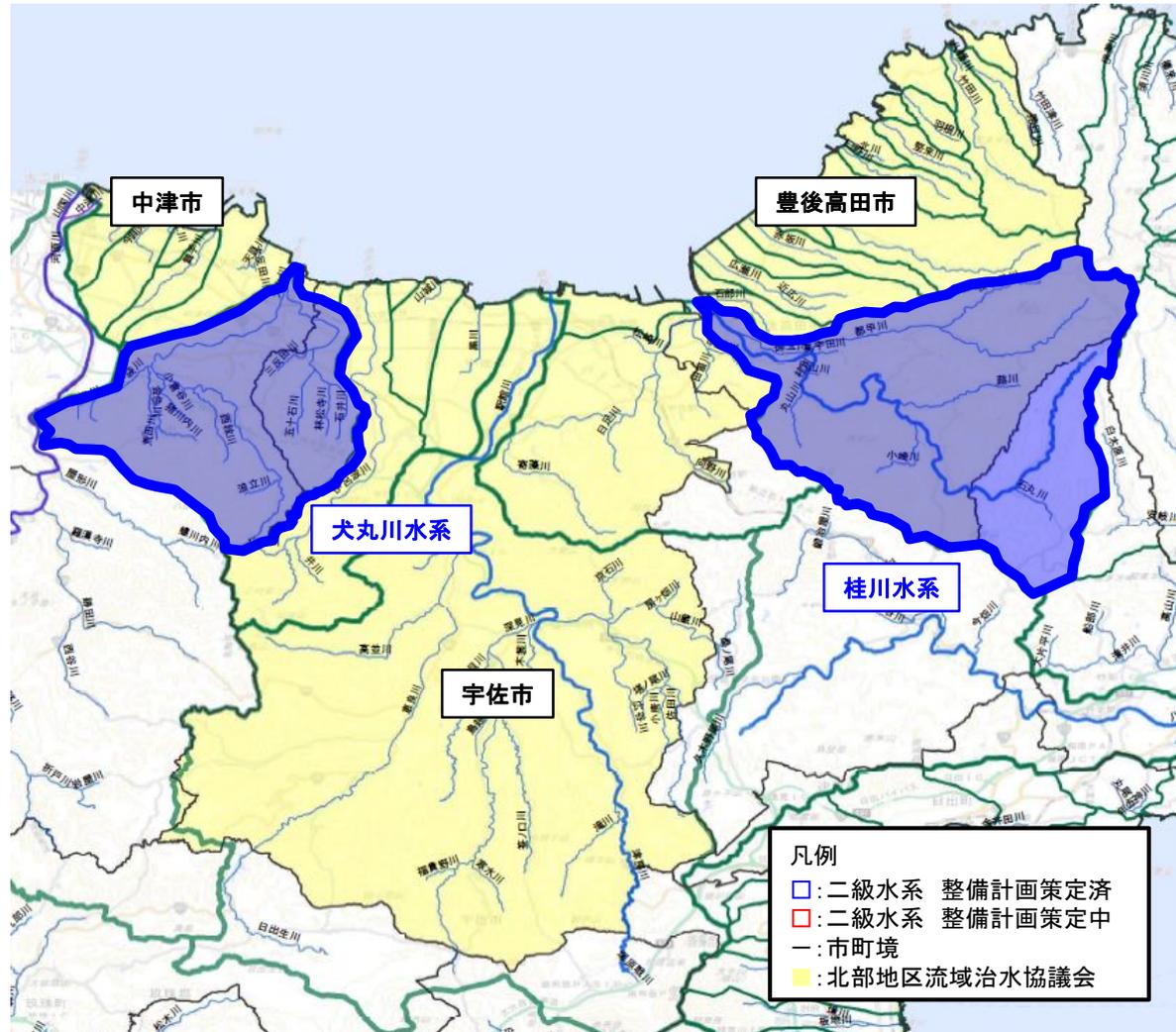
～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

○令和元年東日本台風をはじめ、平成30年7月豪雨など全国的に近年激甚な水害が頻発している。北部地区においても**昭和57年、平成9年、平成24年と度重なる豪雨災害・台風被害を受けている**ことから、事前防災対策を進める必要がある。このことから、**あらゆる関係者(国、都道府県、市町村、住民等)の取り組みを連動させ、過去の出水と同規模の洪水を安全に流下させるなど、北部地区における浸水被害の軽減を図る。**

犬丸川浸水写真(H24年7月)



桂川浸水写真(S57年7月:泉橋直下)



大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～



【中津市】
防災マップの作成、周知 避難訓練の実施支援

【豊後高田市、中津市、宇佐市】
立地適正化計画の策定

【中津市】下水道雨水幹線整備

【中津市】蛸瀬川
(ゲート設置)

【中津市】吉原川
(護岸整備)

【中津市】六反田川
(護岸整備)

【中津市】宮ノ下川
(河床掘削)

【豊後高田市】
洪水災害における災害の未然防止対策(45箇所)

【豊後高田土木】桂川 森工区
(築堤工)

【豊後高田土木】桂川 小田原工区
(築堤工)

【中津土木】犬丸川
(護岸整備、築堤工)

【中津土木】犬丸川
(橋梁架替、河床掘削)

【宇佐市】下水道雨水幹線整備

【大分県、並石土地改良区】
並石ダム

【宇佐市】佐山川
(河床掘削)

【宇佐土木】駅館川
(築堤、河床掘削)

【大分県、駅館川土地改良区連合】
日指ダム

【砂防課】
砂防堰堤の整備(16箇所)
急傾斜地崩壊対策施設の整備(23箇所)

【大分県、宇佐市】香下ダム

【宇佐市】向川内川
(河床掘削)

【宇佐市】余川
(河床掘削)

【豊後高田市】
地域強靱化の推進方針

【農村基盤整備課】
農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進
流水の貯留機能の拡大

【宇佐土木】駅館川
(護岸整備)

【大分地方气象台】
線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善
地域における気象防災業務の強化

【農村基盤整備課】
水害リスク情報の提供・充実

【大分県、宇佐市】日出生ダム

【農林水産部】小一郎兔谷地区

【宇佐市】
防災マップの作成、周知 避難訓練の実施支援
防災無線を活用した情報発信
河川カメラの設置

【大分県】
防災マップの作成
河川カメラの設置

【大分県、玖珠町】小野原ダム

【農林水産部】兔谷地区

【農林水産部】大内ヶ谷地区

【森林整備センター】
水源林造成事業による森林の整備・保全(19箇所)

【大分県、宇佐市】深見ダム

【農林水産部】山ノ下地区

- : 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- : 被害対象を減少させるための対策
- : 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

大分県北部地区流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	築堤、護岸整備	大分県	[進捗バー]		
		河床掘削、築堤、護岸整備	大分県	[進捗バー]		
		河床掘削	中津市	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		河床掘削	宇佐市	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
	流水の貯留機能の拡大	既存ダムの洪水調節機能の強化	大分県、宇佐市、土地改良区、(玖珠町)	[進捗バー]		
		既存ダムの洪水調節機能の強化	豊後高田市	[進捗バー]		
		農地・農業水利施設を洪水調節機能の強化、貯留機能の向上・拡大	大分県、宇佐市、土地改良区、中津市、(玖珠町)	[進捗バー]		
	内水氾濫対策	下水道雨水幹線整備	中津市	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		下水道雨水幹線整備	宇佐市	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
	土砂災害対策	砂防堰堤の整備	大分県	[進捗バー]		
		急傾斜地対策施設の整備	大分県	[進捗バー]		
		治山整備、森林整備	大分県、大分西部森林管理署、森林整備センター	[進捗バー]		
水源林造成事業による整備・保全		森林整備センター	[進捗バー]			

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定	中津市（大分県）	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		立地適正化計画の策定	豊後高田市（大分県）	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		立地適正化計画の策定	宇佐市（大分県）	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災気象情報の改善	線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善	大分県地方気象台	[進捗バー]		
	防災啓発活動	地域における気象防災業務の強化	大分県地方気象台	[進捗バー]		
	土地の水災害リスク情報の充実	中小河川等における避難行動支援の充実	大分県	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		防災マップの作成、周知 避難訓練の実施支援	大分県	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		ため池ハザードマップ作成、水位計・監視カメラ設置	大分県	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		防災マップの作成	中津市	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		地域強靱化の推進方針	豊後高田市	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
		防災マップの作成、周知 避難訓練の実施支援	宇佐市	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]

北部地区における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【大分県（豊後高田土木）】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	築堤、護岸整備	大分県			

【大分県（中津土木）】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

堤防整備・護岸整備、橋梁架替、河道掘削等



犬丸川(整備済区間)



犬丸川(今後整備区間)



犬丸川浸水写真(H24年7月)



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河床掘削、築堤、護岸整備	大分県			

【大分県（宇佐土木）】大分県北部地区流域治水プロジェクト ～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河床掘削、築堤、護岸整備	大分県			

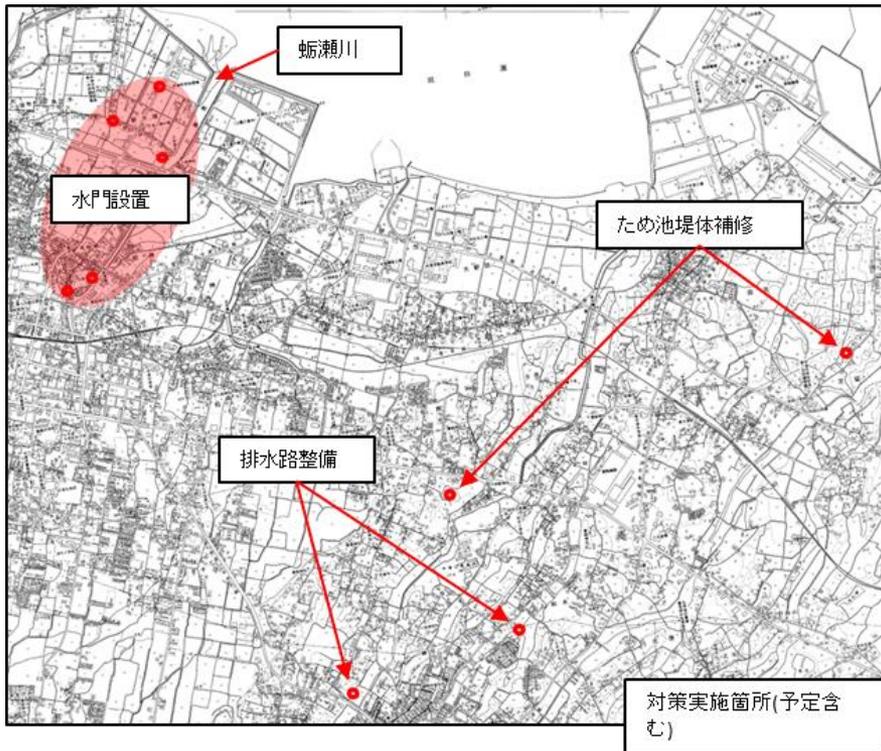
【中津市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■農業水利施設を活用した災害を未然に防止する多面的な対策(中津市)

農業用ため池では、堤体補修を実施し、決壊による被害の防止・貯留機能の向上を図っている。また、ため池ハザードマップを作成し、ホームページや自治会を通して地域住民へ周知している。農業用排水路では、豪雨被害が著しい蛸瀬川周辺の水路に水門を設置することで、流量調整を図っている。

また、排水路を改修することで、住宅等への雨水の溢水を軽減する。今後も個人の生命、身体及び財産への被害を未然に防止するため、ハード・ソフト両面からの治水・防災を推進する。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	ため池や農業用排水路の治水活用、防災啓発	中津市			

【宇佐市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■河道対策として流下断面が阻害されている準用河川及び普通河川について河道掘削等を実施。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河床掘削	宇佐市	▶		

【宇佐市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

氾濫できるだけ防ぐ・減らすための対策 下水道雨水幹線整備(浸水対策)

豪雨による市街地の浸水被害防止対策により浸水被害の軽減を図る

小峰排水区における雨水幹線整備



冠水状況



冠水状況



閻第1排水区における雨水幹線整備



冠水状況



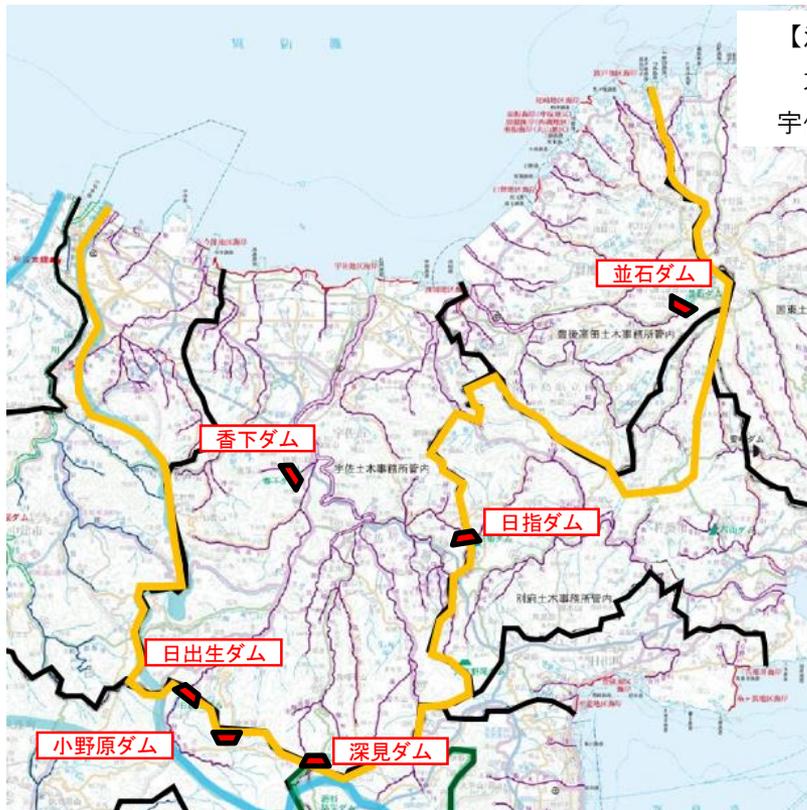
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	下水道雨水幹線整備	宇佐市			

【大分県（河川課）】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■既存ダムの洪水調節機能の強化

- ダムによる洪水調節は、下流の全川にわたって水位を低下させ、堤防の決壊リスクを低減させるのに加え、内水被害等を軽減する有効な治水対策である。
- 駅館川水系及び桂川水系において、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、事前放流の実施等についてダムの管理者及び関係利水者と治水協定を令和3年3月30日締結。



【治水協定締結者】

大分県土木建築部、大分県農林水産部、九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所、宇佐市、玖珠町、駅館川土地改良区連合、並石土地改良区

ダム名	有効貯水容量 (万m ³)	洪水調節容量 (万m ³)※1	洪水調節可能 容量 (万m ³)	水害対策に使える容 量 (万m ³)
深見ダム	125.0	0	10.1	10.1
香下ダム	202.0	0	40.0	40.0
小野原ダム	34.6	0	2.5	2.5
日出生ダム	716.0	0	117.6	117.6
目指ダム	451.0	0	101.0	101.0
並石ダム	142.9	0	17.9	17.9
合 計	1671.5	0	289.1	289.1

※1 水利用への補給を行う可能性が低い期間等において水位を低下させた状態とする貯水池運用を行うことにより確保可能な容量を含む

○水害対策に使える容量（ダム）

・協定前：0m³→協定後：約289万m³ **約289万m³の増加**

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留 機能の拡大	既存ダムの洪水調節機能の強化	大分県、宇佐市、土地改良区、(玖珠町)	▶		

【豊後高田市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

洪水災害における災害の未然防止対策

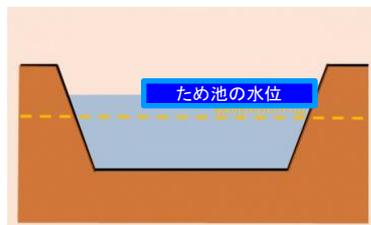
1、概要

令和元年に関東地方を襲った台風19号など、近年、全国的に甚大化・多発化する災害に備え、市では、台風や大雨が予想される際に、ため池の貯水量を事前に調整し、河川への直接的な流入を最小限にとどめる「洪水災害の未然防災対策」に取り組みます。

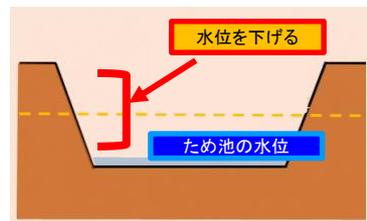
本取組を進めるにあたって、市内のすべて防災重点ため池（45箇所）等の関係者と水位調整に係る協定を締結しました。



本取組の効果(イメージ)



大雨が発生する前に事前に池の水を抜く。



水位を下げた分だけ、雨がため池に貯まる。(河川への流入量が減少。)



河川の水位を下げることで決壊や浸水害を防ぐ。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留 機能の拡大	既存ダムの洪水調節機能の強化	豊後高田市			

【豊後高田市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

洪水災害における災害の未然防止対策

2、連絡方法（対応の流れ）

近日中に大雨のおそれ！

①市役所



気象庁等から台風や大雨の地域限定情報を受けたら、**自治委員、ため池管理者、消防団**へ連絡。



※連絡は各家庭の告知端末を使用。



②自治委員



危険情報の周知や今後の災害対応に備えます。

③管理者



ため池の水位を**可能な範囲で調整**します。

④消防団



安全確保のため、消防団も同行します。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留 機能の拡大	既存ダムの洪水調節機能の強化	豊後高田市			

【大分県（農村基盤整備課）】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

■農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進

【防災重点農業用ため池の耐震化・洪水調節機能の強化】

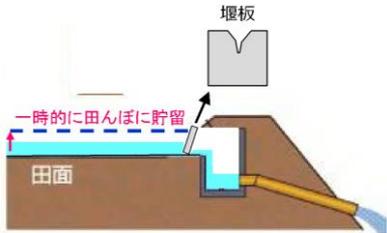
- ・R3は県内62箇所（北部地区流域15箇所）について、堤体の耐震化を行い、農業用ため池が有する洪水調節機能を強化を行った
- ・R4は県内51箇所（北部地区流域13箇所）の予定



【水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発】

R3 取組状況

- ・田んぼダムに適した堰板及び排水柵の検証
- ・水田単位でデータ収集を行い、降雨時の雨水の貯留効果の検証
- ・県内3地区（由布、九重、宇佐）



R4 取組内容

- ・R3に検証した結果を踏まえ、排水路流域単位で県内9地区（北部地区流域1地区（宇佐））のデータ収集を行い、洪水抑制効果の検証を行う

■流水の貯留機能の拡大

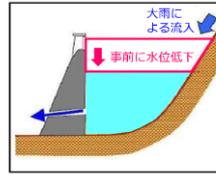
【農業用ダム・ため池の事前放流】

- ・農業用ダムの事前放流による治水活用
 - ⇒ 県内25ダム（北部地区流域6ダム（日出生・日指・深見・香下・並石・小野原））
- ・ため池の事前放流による治水活用
 - ⇒ 県内1,041箇所（北部地区流域229箇所）のため池管理者に対し、事前放流の取り組みを推進

農業用ダムの活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。
- 降雨をダムに貯留し、下流域の氾濫被害リスクを低減。

各地区の状況に応じて、放流水を地区内の調整池等に貯留



ため池の活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。
- 農業用水の貯留に影響のない範囲で、洪水吐にスリット（切り欠き）を設けて貯水位を低下させ、洪水調節容量を確保。



（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水害リスク情報の提供・充実

【ため池ハザードマップ作成支援】

- ・大分県がR2まで浸水想定区域図をもとに、各市町村において、ため池ハザードマップを作成
- ・県内1,013箇所のうち、R3までに920箇所作成済。R4に全て作成完了予定。

【ため池への水位計・監視カメラの設置】

- ・ため池に水位計・監視カメラを設置し、豪雨時の適切な避難行動に備える
- ・R3は県内3箇所（杵築、宇佐、国東）
- ・R4は県内40箇所設置予定



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化 水田の貯留機能向上に向けた復旧・啓発 農業用ダム・ため池の事前放流	大分県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	ため池への水位計・監視カメラの設置	大分県			

【大分県（砂防課）】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

砂防堰堤の整備	地すべり 施設の整備	急傾斜地崩壊対策施設の整備	
朝日川		平ノ下地区	上荘地区
下長岩屋第1川		木の下の地区	第二笹ヶ平地区
畑・堂園川第1		荒尾地区	日岳地区
尾鷲長谷川・尾鷲谷AB川		真中地区	下井ノ川地区
新田川AB		知恩寺地区	本村地区
佐屋ノ元川		岩ノ下1地区	日足地区
立平谷川		石場地区	御沓地区
中居上川・下川		庄屋地区	大見尾地区
坪池下川		相原地区	内川野地区
五名川		上野②地区	尾平地区
矢崎川		常磐下地区	
宮原川		徳光①地区	
二日市川		北ノ迫地区	
小田川			
高山川			
斉藤川			

■砂防対策

対策内容 砂防堰堤工、擁壁工等



【急傾斜】本村地区



令和3年度の取組
急傾斜地崩壊防止施設の整備

<凡例>

- ▲ 砂防堰堤等の整備 16箇所
- 〰 急傾斜地崩壊対策施設の整備 23箇所

令和4年度の取組
・砂防関係施設の整備

【砂防】五名川



令和3年度の取組 砂防設備の整備

【砂防】五名川



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	砂防堰堤の整備	大分県	[Red arrow indicating progress]		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	急傾斜地対策施設の整備	大分県	[Red arrow indicating progress]		

大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■ 森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け森林整備、治山対策を推進。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	治山整備、森林整備	大分県、大分西部森林管理署、森林整備センター			

【森林整備センター】大分県北部地区流域治水プロジェクト

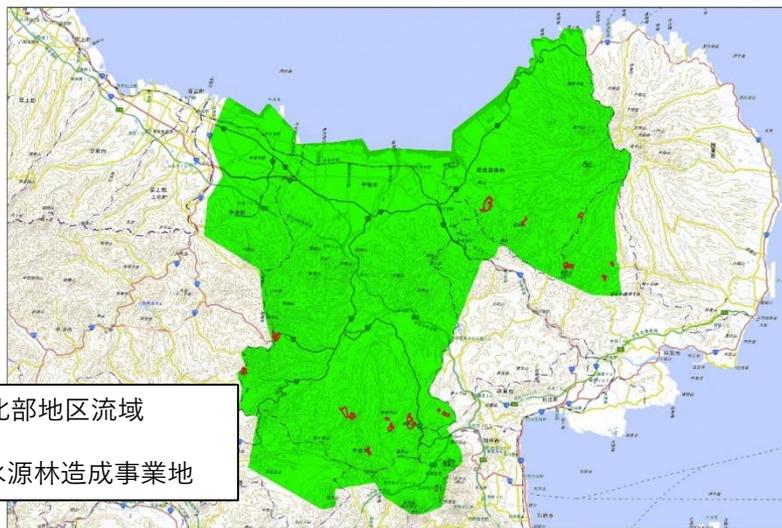
～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

流域における対策

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の私有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
 - ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- 北部地区流域における水源林造成事業地は、約19箇所（森林面積 約332ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

北部地区流域における水源林造成事業地



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ減らすための対策	土砂災害対策	水源林造成事業による整備・保全	森林整備センター			

北部地区における対策内容

被害対象を減少させるための対策

【中津市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

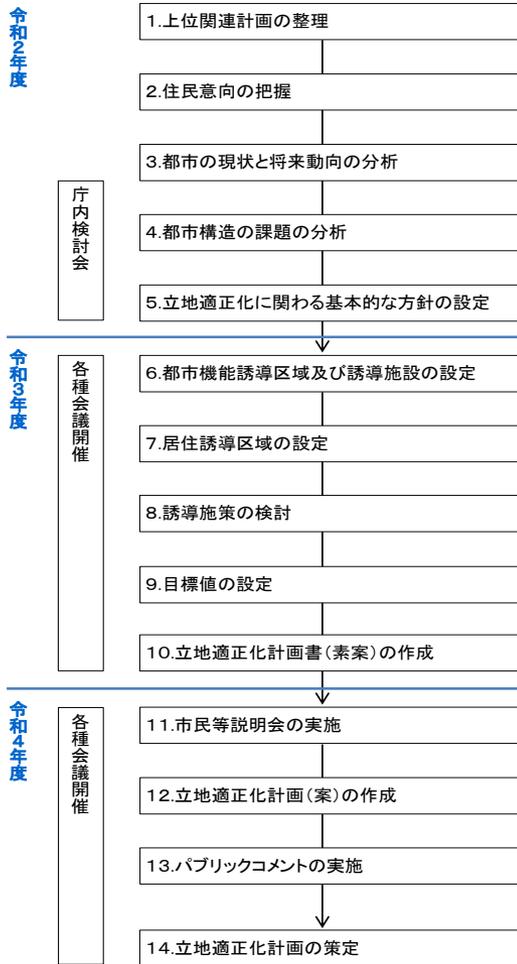
～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■ 立地適正化計画の策定（中津市）

○土地利用・住まい方の工夫として、立地適正化計画の策定に取り組む。

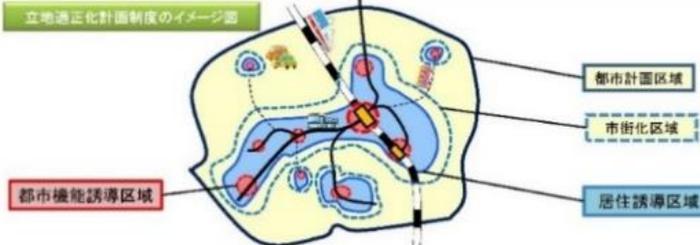
【参考】中津市立地適正化計画作成までの流れ（案）

【参考】中津市立地適正化計画作成までの流れ(案)



(1) 立地適正化計画制度の創設

- 市町村マスタープランにコンパクトシティを位置づけている都市が増えています。一方で、多くの都市ではコンパクトシティという目標のみが示されるにとどまっているのが一般的で、何をどう取り組むのかという具体的な施策まで作成している都市は少ないのが現状です。
- また、コンパクトシティ形成に向けた取組については、都市全体の観点から、居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実等に関する、公共施設の再編、国有財産の最適利用、医療・福祉、中心市街地活性化、空き家対策の推進等のまちづくりに関わる様々な関係施策と連携を図り、それらの関係施策との整合性や相乗効果等を考慮しつつ、総合的に検討することが必要です。
- そこで、より具体的な施策を推進するため、平成26年8月に「立地適正化計画」が制度化されました。これは、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進しようとしているものです。



○ 頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進、立地適正化計画の強化など、安全なまちづくりのための総合的な対策を講じる。

◆ 災害ハザードエリアにおける開発抑制 (開発許可の見直し)

<災害レッドゾーン>

- 都市計画区域全域で、住宅等（自己所有住宅を除く）に加え、**自己の業務用施設**（店舗、事務所、社会福祉施設、病院・ホテル、工場等）の**開発を原則禁止**

<浸水ハザードエリア等>

- 市街化調整区域における住宅等の**開発許可を厳格化**（安全上及び建築上の対応を許可の条件とする）

区分	区域	用途
災害レッドゾーン	市街化調整区域	住宅等
	市街化区域	住宅等
浸水ハザードエリア等	市街化調整区域	住宅等
	市街化区域	住宅等

（注）災害ハザードエリア等とは、
- 浸水被害等
- 土砂災害等
- 高水被害等
- 高水被害等

◆ 立地適正化計画の強化 (防災を主軸化)

- 立地適正化計画の**居住誘導区域から災害レッドゾーンを原則除外**
- 立地適正化計画の居住誘導区域内で行う**防災対策・安全確保策**を定める「**防災設計**」の作成
（避難路、防災公園等の建設地、避難施設等の建設、空地確保等の確保等）

◆ 災害ハザードエリアからの移転の促進

- 市町村による**防災移転支援計画**
市町村が、移転希望のコーディネートを行い、移転に関する具体的な計画を作成し、手続助成を行う
- ※ 上記の法制上の新設とは別途、予算措置を拡充（防災移転希望者への移転費用の補助）

Legend for the map:

- 市街化調整区域 (City Planning Area)
- 市街化区域 (Urbanization Area)
- 居住誘導区域 (Residential Guidance Area)
- 災害レッドゾーン (Disaster Red Zone)
- 浸水ハザードエリア等 (Flood Hazard Area, etc.)

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定	中津市（大分県）	短期	中期	中長期

【豊後高田市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■ 立地適正化計画の策定（豊後高田市）

まちづくりの方針

千年のロマンと自然が奏でる交流と文化のまち

都市機能に関する方針	中心市街地と各地域中心部に集積する都市機能の維持
公共交通ネットワークに関する方針	地域内、地域間、都市間の移動を支える公共交通ネットワークの維持
居住に関する方針	各世代がお互いに支え合いながら暮らす地域コミュニティの活性化
防災に関する方針	災害リスクの認知と様々な災害に対する体制の強化

目指すべき都市の骨格構造

■ 拠点/核の考え方

都市拠点	市域全体の生活を支える都市機能を維持・確保 多様な都市機能が集積する「中心市街地」+大規模商業施設が立地する「商業核」
交通核	中心市街地内の多様な交通モードの結節点、かつ市内外の交流・回遊の拠点

■ 交通軸/ネットワークの考え方

地域内ネットワーク	各地域のなから高田・真玉・香々地地域の中心部へのアクセスを確保
地域連携軸	各地域中心部と都市拠点の連携を図る
広域連携軸	都市拠点と宇佐・中津方面や別府・大分方面、及び国東方面をつなぐ
交通軸（都市拠点内）	「中心市街地」「交通核」と「商業核」を結び、その一体化を図る

都市機能誘導区域・居住誘導区域(人口密度を維持する区域)

都市機能誘導区域

立地適正化計画の計画対象区域かつ都市機能誘導の対象区域にあって、「市内各所や広域からのアクセス性が高い区域」、「既に行政・医療・商業・福祉などの高次都市機能の集積がみられる区域」を、都市機能誘導区域として設定します。

居住誘導区域(人口密度を維持する区域)

「利便性の高いまちとしての基盤が整っている区域」、「高齢者や子育て世帯が暮らしやすい区域」を基本に、「災害に対する安全性などから居住に適していない区域」、「工業系用途地域が定められている区域」を除外した区域を、居住誘導区域(人口密度を維持する区域)として設定します。

都市機能誘導区域・居住誘導区域(人口密度を維持する区域):区域図

都市機能誘導施設

市域全体への生活サービス提供基地としての役割を果たす都市機能、高齢者や子育て世帯に安心して暮らしやすい生活環境を確保するための都市機能、及び公共交通ネットワークの交通結節点を、誘導施設として設定します。

区分	誘導施設	定義
商業施設	小売業	日本標準産業分類「56 各種商品小売業」「57 織物・衣服・身の回り品小売業」「58 飲食料品小売業」「59 機械器具小売業」「60 その他の小売業」に分類される事業所のうち、「管理・補助的経済活動を行う事業所」以外の事業所で、法人格を持ち、延べ床面積が5,000㎡以上の店舗
	診療所	医療法第1条の5の2に該当する施設
医療施設	病院	医療法第1条の5の1項に該当する施設
	市役所	豊後高田市役所高田庁舎
行政施設	保健所	大分県北部保健所豊後高田保健部
	消防署	豊後高田市消防署
	警察署	豊後高田警察署
	公民館	公民館の設置及び運営に関する基準(平成15年6月6日 文部科学省告示第112号)に定める機能を満たす施設
文化施設	集会施設	豊後高田市隣保館・児童館、豊後高田市桂川ふれあいセンター、豊後高田市勤労青少年ホーム
	図書館	図書館法第2条に該当する施設
金融機関	金融機関	日本標準産業分類「622 銀行(中央銀行を除く)」「631 中小企業等金融業」「632 農林水産金融業」に該当する施設
交通拠点施設	交通結節拠点	自動車ターミナル法第2条6項で定めるバスターミナルに該当する施設

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住み方の工夫	立地適正化計画の策定	豊後高田市（大分県）	●	●	●

【宇佐市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

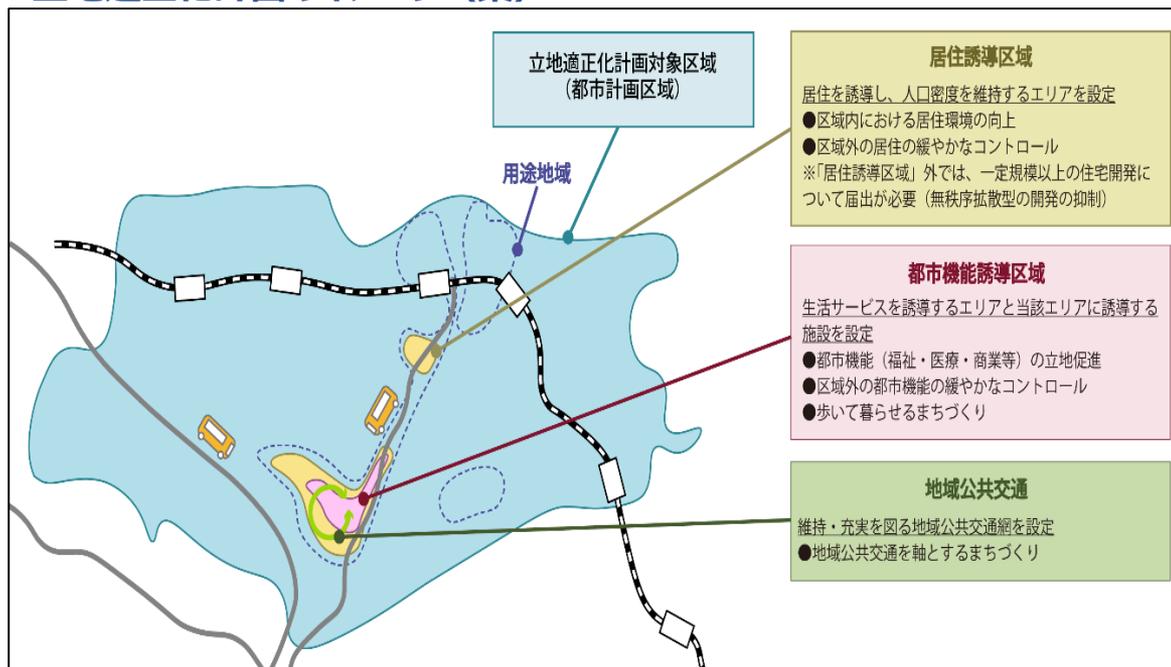
～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■用途地域の都市構造を見直し、サービス施設や住居等がまとまって立地するような土地利用と快適な生活環境の実現を目指します。

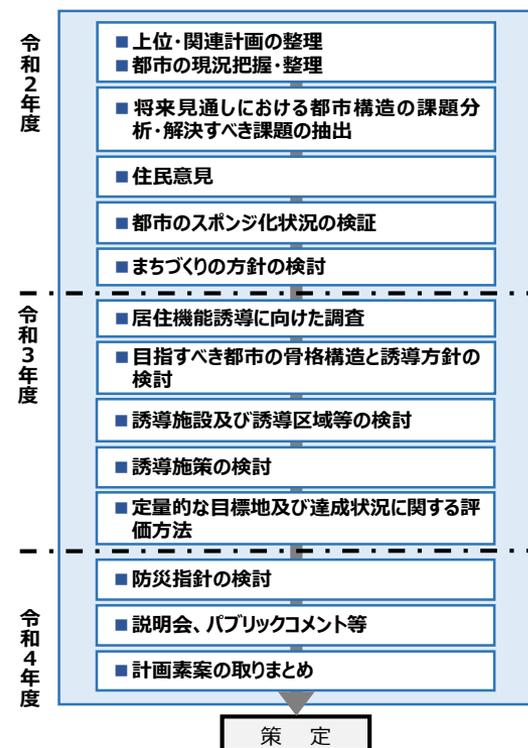
立地適正化計画とは

地方都市で課題となっている人口減少・少子高齢化、市街地の拡散などに対応した持続可能なまちづくりを推進するための計画。

立地適正化計画のイメージ（案）



立地適正化計画策定スケジュール（案）



※当初、令和3年度に策定を予定していたが、令和4年度にスケジュールを見直し中。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定	宇佐市（大分県）	▶	■	■

北部地区における対策内容

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

【大分地方气象台】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

【R3取組】

線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善

警戒レベル相当情報を補足する情報

顕著な大雨に関する情報

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。

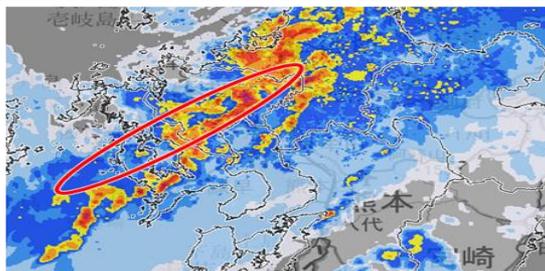
警戒レベル相当情報を補足する情報。

線状降水帯に関する情報（例）

顕著な大雨に関する大分県気象情報

西部、中部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

ナウキャスト（雨雲の動き）で線状降水帯の降水域が表示されます。
（令和3年8月14日06時）



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

「雨雲の動き」（高解像度ナウキャスト）の例

線状降水帯がかかる大河川の下流部では今後危険度が高まる可能性があることにも留意する必要がある旨、ホームページ等に解説を記述する。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災気象情報の改善	線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善	大分地方气象台			

【大分地方気象台】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

【R3取組】

地域における気象防災業務の強化(気象庁の取り組み)



具体的な取組の例

平時

- ✓気象台長の市町村長との「顔の見える関係」を構築・深化
- ✓「気象防災データベース」による気象特性・災害リスクの共有

※市町村等のデータベースのイメージ
基礎データ(人口、地形、地盤、道路、河川等の地理情報)
地域特性(気象特性、災害特性、活動層、火山等)
災害履歴と災害時の気象状況及び地震・火山活動の状況 等

✓防災気象情報の理解・活用のための **実践的な研修・訓練等の実施**

自治体防災担当者を対象としたワークショップ

✓防災の現場で活躍する「気象防災の専門家」として、気象予報士等を育成・活用

✓地域に根ざした気象台職員育成の推進

緊急時

- ✓防災気象情報の適時的確な発表及び解説
- ✓ホットラインや予報官コメントにより予報官の危機感を確実に伝達
- ✓災害対応支援のため気象防災対応支援チーム(JETT)を派遣(平成30年5月創設)

災害発生時の予見時
災害発生時

管区気象台等
管内のチーム員が集結、業務応援
地方気象台
近隣の地方気象台

地域を熟知する気象台職員(支援チーム員)を派遣・駐在

災害後

- ✓市町村等と共同で「振り返り」、不断に取組を改善

防災気象情報の理解・活用のための実践的な研修・訓練等の実施

日付	参加人数	取組内容
2021/4/26	77	今年度採用された県内の消防職員を対象とした消防職員初任教育訓練の中で講義を行った。目的は気象及び地震・津波に関する知識を習得させ、自然災害への防災意識を高めるためであり、毎年講義の依頼がある。
2021/5/13	20	市町村の新人防災担当職員を対象とした防災気象情報研修(東部地区)「防災気象情報に関する講演」「気象防災ワークショップ」を担当
2021/5/14	20	市町村の新人防災担当職員を対象とした防災気象情報研修(西部地区)「防災気象情報に関する講演」「気象防災ワークショップ」を担当
2021/5/20	20	市町村の新人防災担当職員を対象とした防災気象情報研修(中部地区)「防災気象情報に関する講演」「気象防災ワークショップ」を担当
2021/5/21	20	市町村の新人防災担当職員を対象とした防災気象情報研修(豊肥地区)「防災気象情報に関する講演」「気象防災ワークショップ」を担当
2021/5/24	20	市町村の新人防災担当職員を対象とした防災気象情報研修(北部地区)「防災気象情報に関する講演」「気象防災ワークショップ」を担当
2021/5/27	20	市町村の新人防災担当職員を対象とした防災気象情報研修(南部地区)「防災気象情報に関する講演」「気象防災ワークショップ」を担当
2021/10/20	22	県内の消防職員(現場で指導する立場の職員)に対し、気象(豪雨災害、土砂災害など)の説明を実施し知識を習得させ、自然災害への防災意識を高めるために講義を行った。
2021/12/2	16	県下の消防団員(今後防災に関する指導者の立場となる予定の職員)に対し、気象および地震・津波に関する知識を習得することを目的に、自然災害への防災意識を高めるため講義を行った。

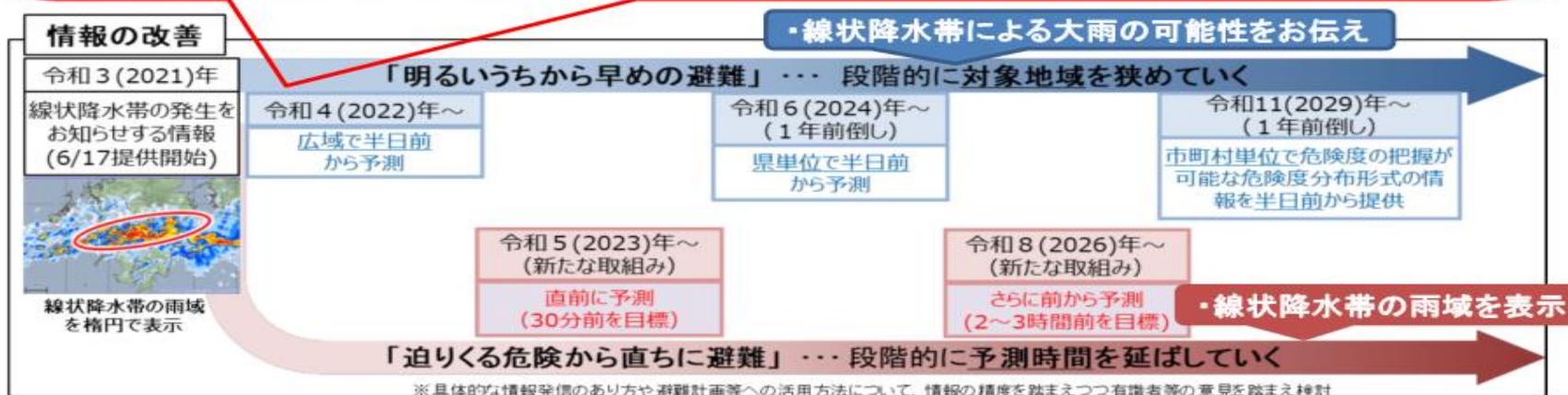
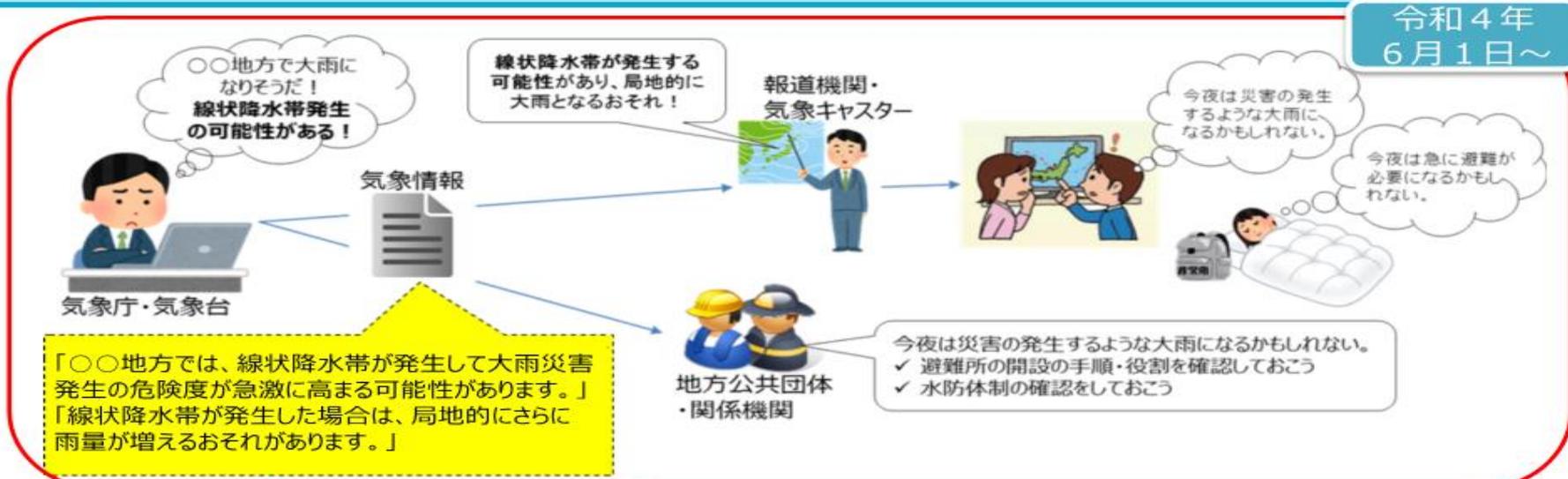
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災啓発活動	地域における気象防災業務の強化	大分地方気象台			▶

【大分地方气象台】大分県北部地区流域治水プロジェクト
 ～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

【R4取組】

線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善

令和4年
6月1日～



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

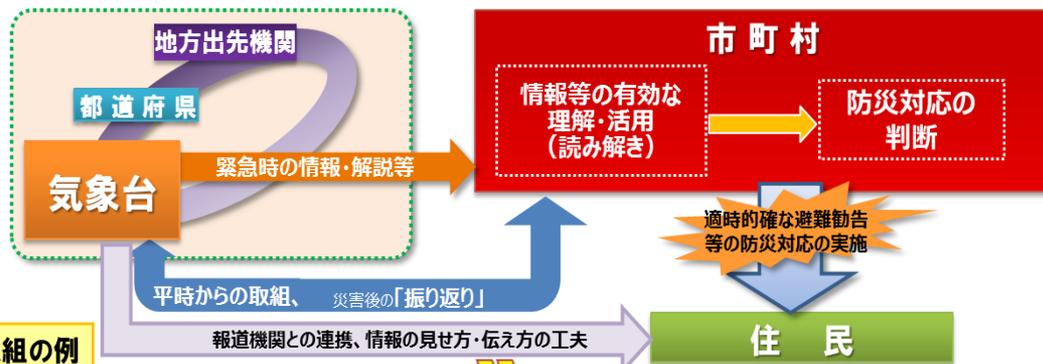
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災気象情報の改善	線状降水帯による豪雨に対する情報提供の改善	大分地方气象台			

【大分地方気象台】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

【R4取組】

地域における気象防災業務の強化(気象庁の取り組み)



具体的な取組の例

平時

- ✓気象台長の市町村長との「顔の見える関係」を構築・深化
- ✓「気象防災データベース」による気象特性・災害リスクの共有

※市町村毎のデータベースのイメージ
 基礎データ(人口、地形・地盤、道路・河川等の地理情報)
 地域特性(気象特性、災害特性、活断層、火山等)
 災害履歴と災害時の気象状況及び地震・火山活動の状況 等

- ✓防災気象情報の理解・活用のための 実践的な研修・訓練等の実施

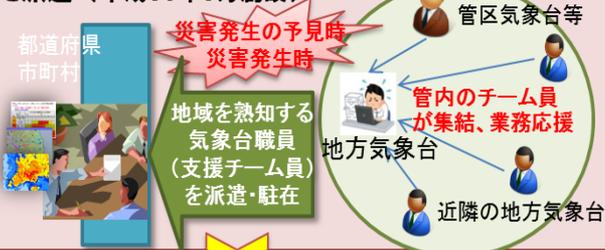


自治体防災担当者を対象としたワークショップ

- ✓防災の現場で活躍する「気象防災の専門家」として、気象予報士等を育成・活用
- ✓地域に根ざした気象台職員育成の推進

緊急時

- ✓防災気象情報の適時的確な発表及び解説
- ✓ホットラインや予報官コメントにより予報官の危機感を確実に伝達
- ✓災害対応支援のため気象防災対応支援チーム(JETT)を派遣(平成30年5月創設)



災害後

- ✓市町村等と共同で「振り返り」、不断に取組を改善

○平時においては、情報利活用のための実践的な研修等の取り組みの中で、気象情報を活用した「自治体向け防災対応ワークショップ」の実施や、「防災士養成研修への講師の派遣」などを行う。

○災害発生後には、市町村等と共同で振り返りを実施する。

このことにより、防災気象情報や地方公共団体支援の更なる改善に繋げるとともに、気象台及び市町村等の双方の防災対応について相互の理解を深め、地域の気象防災力の強化を図る。

○令和4年度から、地域における気象防災業務支援のさらなる強化の取組として、リスクコミュニケーション推進官、要配慮者対策係、流域治水対策係を新たに設置。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災啓発活動	地域における気象防災業務の強化	大分地方気象台			

【大分県(河川課)】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

中小河川等における避難行動支援の充実（災害の危険性の見える化）

① 中小河川等洪水時ハザードマップ作成支援

☑頻発する豪雨災害に対して、R3～5の3ヶ年で、以下の優先順位に基づき、ハザードマップを市町村が作成できるように支援を行う

- 考え方 (県内全585河川のうち)
- ①過去に浸水実績のある河川
 - ②河川背後地に資産(住居等)が集中(人家50戸以上目安)
 - ③要配慮者利用施設が河川近傍に存在

中小河川等ハザードマップ作成<県内541河川>
⇒人家や重要施設の多くをハザードマップでカバーが可能に



<効果>

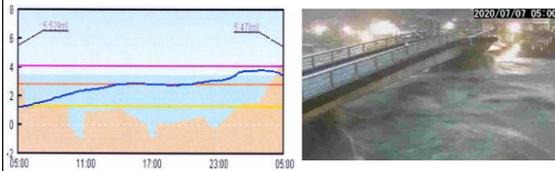
中小河川等での住民の避難体制を構築

② 中小河川等への水位計・河川カメラ増設

☑住民の避難行動を促すための視覚情報を充実するため、従前の大規模河川等に加え、中小河川等へも水位計・カメラを増設

- 考え方
- ☑過去に浸水実績のある河川
⇒浸水実績のある河川については、ハザードマップに加え、視覚情報を用いて、より緊迫感を持って避難行動を促す

◆水位計：既設127基 + 増設24基 = 県内各151基設置
◆カメラ：既設 82基 + 増設69基



(県HPや防災アプリ等で視覚情報を発信)

<効果>
視覚情報等の提供により、適切な避難行動を促進

人数	県管理河川<585河川>	
	水位周知河川等<84河川>	その他(中小)河川<501河川>
100戸	1)-1 HM作成 84河川 <現状> ・水位周知区間のみHMあり	1)-2 HM作成 171河川 <現状> ・HMなし
50戸	<R3~5> ・全区間作成	<R3~5> HM作成 ・人家50戸以上目安 (要配慮者施設考慮)
0戸	2)水位計・カメラ設置 ⇒浸水実績のある箇所へ増設 <水位計> 既設127基 + 増設24基 = 151基 <カメラ> 既設82基 + 増設69基 = 151基	50戸未満だが近傍に要配慮者施設あり
	(その他 人家0戸: 97河川 人家1戸~50戸未満: 233河川)	



災害の危険性の見える化により、洪水等からの逃げ遅れが無いよう、適切な避難行動を促進

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	中小河川等における避難行動支援の充実	大分県	■	■	■

【大分県(防災対策企画課)】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

○ ソフト対策として、マイタイムラインの活用促進を行い、被害の軽減を図る。

大分県版マイタイムラインシート



おおいたマイ・タイムライン ～わが家の避難計画～

Ver.3(R3.5.20改訂)

警戒レベルと警戒レベル相当情報(防災気象情報)				
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況が悪化	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫
-	氾濫注意情報	大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報	大雨特別警報 氾濫発生情報 高潮氾濫発生情報

警戒レベルに応じた家族の行動

災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
<ul style="list-style-type: none"> 避難先や避難経路を再確認する 非常持出袋の中身を再確認する 家族の予定を確認する 持病薬や体調に合わせた薬を準備する 屋で飛ばされやすい物を室内に片付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの確認 携帯電話の充電を完了しておく 家族の予定を確認する 窓の閉鎖、戸を閉める お母さんに、避難する可能性があることを連絡する 窓ガラスにフィルムテープを貼っておく 	<p>わが家の避難スイッチ！ 警戒レベル3発令後に必ず避難する！！</p>	<ul style="list-style-type: none"> おぼさんの家に家族全員が避難完了！ 気象情報を確認する おぼさんの家が危険な状況になりそうな場合は、大分公民館へ避難する ※避難した方が危険な場合は、そのまますおぼさんの家で避難を続ける テレビやラジオで気象情報をチェックする 	<p>全員避難完了！</p> <p>自宅内の安全な場所へ避難</p> <p>2階以上に避難</p>

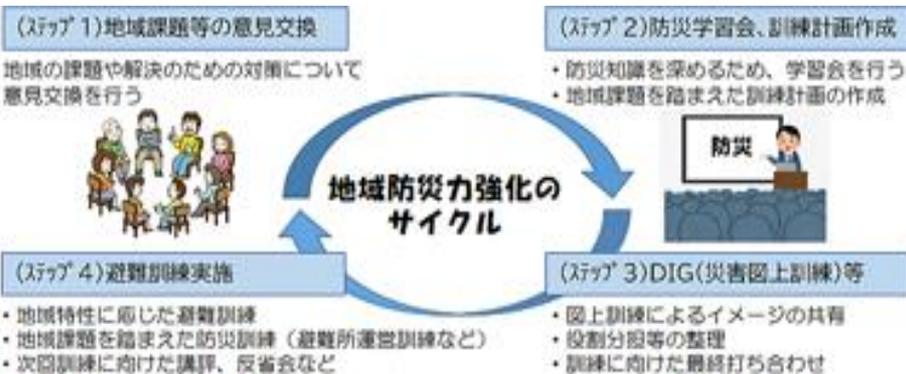
日頃から調べておくこと、備えておくこと

わが家の災害リスク・避難先	非常持出品	情報収集ツール
<ul style="list-style-type: none"> □ 浸水する深さ 想定 (3)m □ 近隣河川までの距離 (250)m □ 土砂災害警戒区域に入っている (いる / いない) □ 避難先① (お母さんの家)まで、徒歩/車で (10)分 □ 避難先② (大分公民館)まで、徒歩/車で (7)分 ※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) □ 避難先までの危険な場所・特徴 (避難先1道路が狭い 避難先2長い階段がある、街灯が少ない) 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 食料品 ☑ 飲料水 ☑ 貴重品 ☑ 着替 ☑ 懐中電灯 ☑ 毛布 ☑ 携帯電話の充電器 ☑ 電池 ☑ マスク ☑ アルコール消毒液 ☑ 体温計 ☑ ハザードマップ ☑ お薬手帳 ※忘れてませんか? ☑ 常備薬 ☑ お薬手帳 ↓ その他に準備する物も書いておこう! 紙オムツ 生理用品 ドッグフード ビニール手袋 タオル ウェットティッシュ 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ おおいた防災アプリ ☑ 県民安全・安心メール ☑ 市町村防災メール ☑ テレビ ☑ 防災ラジオ ☑ 大分地方気象台HP ☑ おおいた防災ポータル □

地域の訓練支援 (避難させ隊)

- 1 地元の団体(NPO、防災士会)、住民主体の訓練への支援
 - ・地元NPOや防災士会、住民による「地域特性に即した防災訓練」
 - ・地域コミュニティ主体の継続性のある「地域に根ざした防災活動」

事業スキーム



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	防災マップの作成、周知 避難訓練の実施支援	大分県	■	■	■

【中津市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

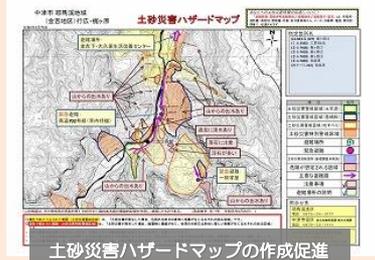
■ 国土強靱化地域計画の策定（中津市の事例）

地域強靱化の推進方針の概要

脆弱性評価の結果に基づき、起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を回避するために必要な施策として、施策分野及びリスクシナリオごとに地域強靱化の推進方針をとりまとめました。

【個別施策分野】

- (1) 行政機能／消防等
 - ・住宅防火の推進
 - ・災害拠点施設の整備
 - ・消防活動体制の強化
 - ・消防団の活動強化 等
- (2) 住宅・都市／環境／地域
 - ・木造家屋等の耐震化の推進
 - ・排水施設等の整備・維持管理
 - ・し尿処理に係る取組の強化
 - ・ごみ処理施設の対策
 - ・災害廃棄物の運搬、処理に係る対策 等
- (3) 保健医療／福祉／教育
 - ・避難行動要支援者の避難支援の取組の推進
 - ・福祉避難所の確保
 - ・災害時における医療派遣体制の連携強化
 - ・保健指導及び予防接種の促進 等
- (4) エネルギー／情報通信／産業
 - ・災害時情報伝達手段の普及促進
 - ・データセンターの移設
 - ・公衆無線LAN整備
 - ・インターネット光ケーブル更改、冗長化
 - ・企業ごとのBCP策定の推進 等
- (5) 交通・物流
 - ・都市部における輸送ルートの骨格となる街路等の整備
 - ・備蓄食料等の確保・管理
 - ・港湾、林道における物資輸送ルートの確保
 - ・道路の改修及び維持管理
 - ・山間地における避難路や輸送路等の整備 等
- (6) 農林水産
 - ・森林整備の促進
 - ・倒木時に電線等へ影響を及ぼす樹木の事前伐採
 - ・漁港の耐震、津波対策
 - ・農地、農業用施設の保全 等
- (7) 国土保全
 - ・地籍調査の推進
 - ・津波ハザードマップの作成によるリスクの周知
 - ・河川施設の維持・改修
 - ・土砂災害ハザードマップの作成促進
 - ・ため池ハザードマップの作成促進 等



【横断的分野】

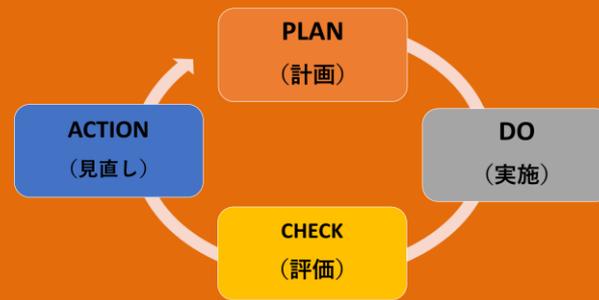
- (1) リスクコミュニケーション（情報の共有、訓練・啓発等）
 - ・消防各種訓練の実施
 - ・要配慮者利用施設の防災訓練の促進
 - ・中津市の防災力向上のための訓練の実施
 - ・業務継続計画（BCP）の実用的な運用
 - ・中津市支援計画の実用的な運用 等
- (2) 地域の生活機能の維持・地域の活性化
 - ・災害時における医療派遣体制の連携強化
 - ・備蓄食料等の確保・管理
 - ・災害時に有効な活動拠点となる公園の整備
 - ・地域での支え合い活動の推進 等
- (3) 防災教育・人材育成
 - ・防災教育の推進
 - ・自主防災組織の活動強化
 - ・住民による避難所の自主運営の促進
 - ・防災士の養成
 - ・地域住民による防災活動の強化 等
- (4) 老化対策
 - ・なかつ情報プラザの耐震化対策
 - ・子育て支援施設の老化対策
 - ・学校施設の老化対策
 - ・社会教育施設等の老化対策
 - ・橋梁、トンネル、道路附属物等の改修及び維持管理 等



地域強靱化の推進方針の概要

本計画に基づく地域強靱化の施策を確実に推進するため、各プログラムの達成度や進捗を把握する代表的な指標において、その具体的な取組内容や目標値を記載した年次計画を策定します。

年次計画を毎年度検証することにより、PDCAサイクルによる施策の進捗管理を行うとともに、必要に応じて、地域防災計画をはじめとした各種計画による施策を追加し、地域強靱化の取組を推進します。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	防災マップの作成	中津市			

【中津市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■防災マップの作成（中津市）

（令和3年度までの取り組み）

○WEB版の防災マップの機能拡充（想定浸水深のポップアップ表示機能、内水・高潮ハザード表示機能、避難所選択表示機能の追加など）を実施。

（令和4年度の取り組み）

- WEB版の防災マップの機能拡充（中小河川洪水浸水想定区域公表後の洪水ハザードの追加など）を図る。
- 各地域の各種集会等、様々な機会を通じて、内容周知に努めるとともに、この防災マップを活用した避難訓練の実施支援を行う。
- WEB版の防災マップでは、洪水や津波等の災害リスク別に被害想定を確認でき、任意の範囲のマップを作成（印刷）できることから、マイハザードマップの作成支援も行う。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	防災マップの作成	中津市			

【豊後高田市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

○地域強靱化の推進方針の概要

脆弱性評価の結果に基づき、起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を回避するために必要な施策として、施策分野及びリスクシナリオごとに地域強靱化の推進方針を取りまとめました。

地域強靱化の推進方針：施策分野ごと（例）

【個別施策分野】

①行政機能・警察・消防等

- 業務継続計画の見直し、受援計画の策定
- 防災拠点となる高田庁舎や災害対策本部として庁舎の代替
- となる中央公民館の改修や整備・維持管理の推進
- 防災関係機関等との総合防災訓練の実施及び連携強化
- 消防活動に必要な施設の充実強化及び消防団の活動支援



小学校区ごとの防災訓練を実施（毎年）

【個別施策分野】

⑥農林水産

- ため池等を活用した浸水対策の推進
- ため池の整備等のハード対策とソフト対策（ハザードマップの活用）を適切に組み合わせる
- 農業の有する多面的機能の維持・発揮を促進
- 間伐や鳥獣害対策等による森林の国土保全機能の維持等



令和2年度ため池の水位調整に係る協定締結



②住宅・都市・環境・地域

- 住宅・建築物等の耐震化の促進
- 避難訓練の促進
- 津波・洪水・ため池・土砂災害などのハザードマップに
- よる危険性の周知や早期避難の意識の啓発
- 上下水道施設の長寿命化対策と耐震化の推進
- 災害廃棄物に関する収集運搬計画及び処理マニュアル策定や関係機関等との連携強化等

【横断的分野】



③保健医療・福祉・教育

- 救急業務の高度化の推進
- 県や医師会と連携した健康管理体制の構築
- 避難行動要支援者の避難支援体制の構築
- 実践的な避難訓練等による防災教育の推進等



④情報・産業・エネルギー

- 災害時における市民への確実かつ迅速な情報提供手段の多様化の推進
- 避難所情報や避難勧告等の迅速かつ正確な情報発信
- 自助・共助の防災意識に基づく避難警戒体制の確立等



平成22年度避難架け橋



B.地域の生活機能維持

- 自治会や自主防災組織等への活動支援をさらに充実させ、地域コミュニティを再生し、地域活性化を図る
- 若者の定住やUJターン等の促進、地域資源を活用した産業振興による就労場所の確保



A.リスクコミュニケーション・教育

- 市民の防災意識の向上や防災訓練等を通じて、地域リスクを理解・共有し、災害時に主体的な行動（自助・共助）ができる地域づくりを支援
- 学校での防災訓練を通じて、児童・生徒が災害に適切に対応する能力の基礎を養う等



C.老朽化対策

- 豊後高田市公共施設等総合管理計画に基づいた適切な維持管理・更新等の推進
- 排水施設、給配水施設等の整備・維持管理の実施等

⑤交通・物流・国土保全

- 橋梁・道路・トンネル等の長寿命化対策の推進
- 迅速な道路啓開に向けた国や県等の道路管理者との連携や体制づくり
- 急傾斜地等の崩壊対策の推進
- 食料や飲料水等の提供に係る応援協定の実効性の向上等



平成22年度避難架け橋



○計画の推進について

各プログラムの達成度や進捗を把握・検証することにより、PDCAサイクルによる施策の進捗管理を行うとともに、豊後高田市地域防災計画をはじめとした各種計画による施策の追加等を行い、地域強靱化の取組を推進します。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	地域強靱化の推進方針	豊後高田市			

【宇佐市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

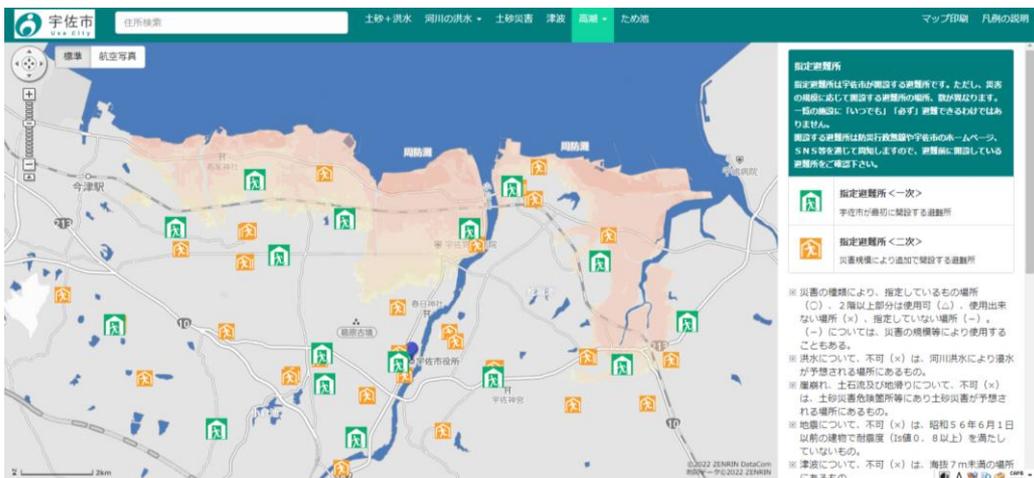
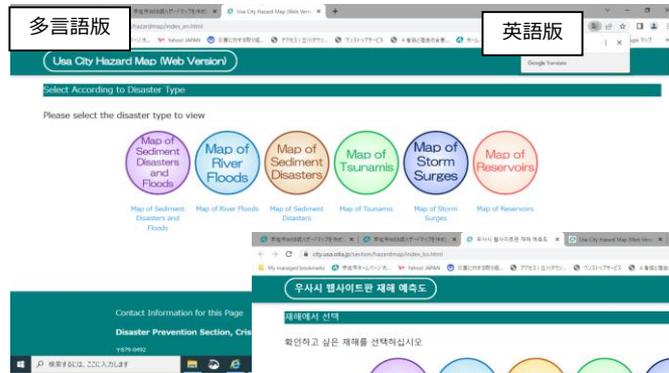
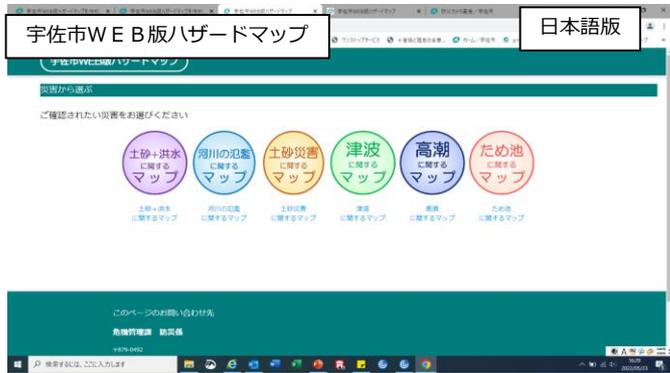
■災害時の多言語対応（宇佐市）

（令和3年度までの取り組み）

- 土砂災害・大雨洪水・津波・ため池の浸水等を想定載した防災ハザードマップ（日本語版）を作成し配布。

（令和4年度の取り組み）

- 高潮ハザードマップ（日本語版）を作成し配布
- 紙ベースのハザードマップを統合し「宇佐市WEB版ハザードマップ」を構築し、多言語に対応（英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）
- 災害時多言語通訳サービスの運用開始（24時間対応、対応言語20言語）
- WEB版ハザードマップは、洪水や津波等の災害リスク別に浸水想定等が確認でき、任意の範囲のマップを作成（印刷）できることから、避難所の確認、避難経路の確認ツールとして避難時に活用できる。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	防災マップの作成、周知 避難訓練の実施支援	宇佐市	■	■	■

【宇佐市】大分県北部地区流域治水プロジェクト

～大分県北部地区における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

■ハザードマップやおおいたマイタイムラインを活用した学習会や避難訓練を実施し、地域防災力の向上を図る。

■減災シンポジウムを通して、地域全体で地域防災や減災について考える。

(令和4年度の主な取り組み)



要配慮者利用施設避難確保に係る研修会

概要: 浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成の支援

テーマ: おおいたマイタイムラインを活用し、リスク想定、避難スイッチ等の設定することで実行性のある避難確保計画の作成

実施日: 令和4年5月10日(火)

防災シンポジウムin宇佐

概要: 大分大学、地元高校生及び行政が連携し、地域の特徴や過去の災害から学び、地域全体で地域防災及び減災を考える。

実施日: 令和5年1月下旬

土砂災害避難促進アクションプラン

概要: 防災意識の高い社会の構築に向け、行政と住民が一体となって取り組む行動計画

対象地区: 金丸・西屋敷・江熊

実施日: 令和4年9月(予定)

市内一斉避難訓練

概要: 自助・共助のはたらきを活性化し、地域防災力の更なる向上を目的として、市内一斉の避難訓練を実施

実施日: 令和5年3月



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	防災マップの作成、周知 避難訓練の実施支援	宇佐市	■	■	■